

公益財団法人
ワグナー・ナンドール記念財団

年 報

2022－2023年版

ご挨拶

新型コロナウイルス禍が続き、各地の美術館の多くのイベントが中止・延期されましたが、「芸術・文化はインフラ」の理念の基に、私たちは感染拡大防止策を講じつつ開館を続けて、例年とほぼ同数の方々が来館されました。以下、この間の事業報告をいたします。

1. 春季展2022の併設展（五角堂ギャラリー）は、「谷中美佳子 日本画展」。ワグナー夫妻の結婚記念日（4月29日）には、デュオ・阿久澤さんの記念コンサートをここで開催。
2. 秋季展2022の併設展（五角堂ギャラリー）は、「ワグナー夫妻の日々 パネル展」。祈りの間にあった絵画「夫婦」を初めてここに展示し、記念の絵はがきも作製。
3. 10月23日は庭園で朗読会を開催。朗読は沼尾ひろ子さん、フルートとピアノは高橋詩織さんで、道まであふれるお客さまをお迎えして盛会。
4. 2022年は栃木県で2回目の国体「いちご一会とちぎ国体」が開催。私たちもこの国体に協力するために、1980年の栃木国体の記念章でワグナー・ナンドールがデザインしたメダル「親子三代」の缶バッジを益子町と共同で製作し、県民の皆さまに配布し（2,000個製作）、益子町から感謝状が贈られました。関連イベントとして7月9日には宇都宮市立南図書館で、「開館11周年／ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業『熱いバトンをつなげ～栃の葉国体からいちご一会国体へ～』」を共同開催し、私が「ハンガリーと日本の架け橋」というタイトルで講演。
5. 隔年の助成事業では、日本画の谷中美佳子さんに授与。
6. ハンガリーでは「ワグナー・ナンドール生誕100年特別展」を4カ月間開催、オープニングセレモニーにも300人近くが来場し、期間中はコロナ禍にもかかわらず大盛況でした。これはアカデミア・フマーナ（ワグナー・ナンドール作品保全財団）との共同開催で、江原評議員と私が日本から出席。（会期は2022年10月7日から2023年2月5日）
7. 2023年2月、ワグナー夫妻の胸像がハンガリーから船便で到着し、設置場所、デザイン、台座の石の検討などを役員・スタッフ全員で話し合い決定。9月から土台の基礎工事、台座の設置などを行い、胸像が周りの風景と一体となる形で設置完了。10月15日、秋季展初日はあいにくの雨でしたが、元リストハンガリー文化センター所長のナジ・アニタさん、瀧沢久子評議員、下村徹先生と共に除幕式を実施。式後には「哲学の庭」の側で、バイオリンの打保早紀さんとマリimbaの高島聡美さんによるミニコンサートが行われ、雨音とのコラボ演奏に参加の方々は大いに感動されました。
8. 庭園の大改修工事は2022年にほぼ完了し、2023年には丁寧な手入れを続けて、回遊式の庭園が整いつつあり、今後も継続して整備を続けます。
9. 昨今、ワグナー・ナンドールの建築にも興味のある方々が来館されて、今後は宇都宮大学と連携して数年間かけて調査・研究を実施予定。

ちよ亡き後は、財団関係者で議論を深めて「邸宅美術館」として、幅広い方々から愛される場の提供に努めてまいります。引き続きのご愛顧をお願いいたします。

令和6年6月1日
理事長 秋山 孝二

設立趣意書

私は昭和44年来日し、栃木県益子町にアトリエを建設しました。昭和50年には日本に帰化しました。

来日に際し、日本に住む今世紀の文化人として社会の役に立つ為には、どのような生き方をすべきか深く考えました。

一つは、日本内外の文化人の養成所として長く使えるような仕事場、研究室、宿舍などの建物から庭に至るまで一体となった良い環境を作り上げること、一つは、彫刻の学校を卒業してもアトリエを持たない若い人々に無料で仕事場を提供し、且つ指導すること、一つは私自身が優れた作品を創る事、とりわけ長年の美術史研究に基き、世界の平和を願って制作している「哲学の庭」の群像を完成し、実現化することなどでした。そしてこれらを実行して参りました。

私は今年65歳になり、あとこの十年くらいしか仕事が出来ません。十数年来、妻と共に精神的、経済的全エネルギーを投入して作って来た設備を、我々個人の物と考えたことはありませんので、今後も私共の生きている間は、より完成に近づけ、その後もこの形で多くの人々の役に立てて欲しいと思っています。又私がライフワークとして制作している「哲学の庭」の十数体の彫刻が私共の死後、一つ一つに分散してしまうことにより、後世の人々に意味がわからなくなることを恐れています。

数年前遺言書を作った折に、私共の死後は財団法人にすることを記しましたが、法人を設立することはなかなか面倒な手続きがあり、死後にこれを誰かに託すのは迷惑になると思います。

TAO(タオ)研究所の名前の語源は中国語で、道・基礎・精神を意味します。TAOの名はこの法人の目的と性格を表現しています。即ち、この法人は究極的には、学んだ知識を基礎として、世界の平和と言う目的達成のため、日常生活の各分野で広く人々の幸せのために役に立つ人間を育成します。将来は建設的な思想を身につけ、十分な知識を学んだ教え子が、芸術家にとって最も大切な「歴史上の自分の責任」をよく自覚して、社会の多くの分野で人々の幸せのために役に立ってくれるのを願っております。

そのために、私共の持っているあらゆるエネルギーを投入したいと思います。

昭和62年4月29日

財団法人TAO世界文化発展研究所

設立者 和久奈 南都留
和久奈 ちよ

公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団 発足

財団法人タオ世界文化発展研究所は、平成 23 年 4 月 1 日をもって「公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団」となりました。ワグナーが設立し、命名した「タオ世界文化発展研究所」の名が消える淋しさはありますが「公益財団法人」の認定を受けることは、私たち長年の願いでしたので、このたびの認定は、大きな喜びをもって受け止めました。

事務局の猛烈な頑張りに加え、側面、背面から協力してくださった方々、並びに栃木県庁担当者の理解ある対応に助けられて実現したものです。専門家ではない私たちが一切の書類を整えることが出来た喜びをかみしめております。ワグナー作品を応援してくださる多くの方々に支えられてのことだと、ほんとうにありがたく思います。

法人名に「公益」を冠することは、私たちの活動が社会的に評価され、信用を得たことを意味します。それだけに、責任も大きくなり、運営の徹底した透明化と情報公開が求められます。それと同時に財団の活動がそれらによって柔軟性を失う事のないよう、今まで通りいきいきと進んでまいらなくてはなりません。

「公益財団法人」の名に恥じない活動を、力いっぱいつけていくつもりです。

どうか、これまで以上のご支援を心からお願い申し上げます。

平成 23 年 4 月 1 日

設立者 和久奈 ちよ

令和4(2022)年度事業報告

I 公益目的事業

事業概要

ワグナー・ナンドールの志を継ぎ、芸術文化の調査研究を行うとともに、その作品および研究の成果を広く一般に公開し、芸術文化の振興および助成を行い、公益かつ社会に貢献する事業

(1) 展示事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが制作した芸術作品、建物および庭園ならびにワグナー・ナンドールに関する美術文献を広く一般に公開展示する美術館事業。

【事業報告】

定期展開催

新型コロナウイルス感染予防対策をして通常開催した。

アトリエ、学生寮、哲学の庭、展示会場、茶室、五角堂、庭園などの公開
各種DVDの公開(DVD-ROOMおよび学生寮にて)、室内は10名以下の制限をした。

併設展：五角堂ギャラリーにて

◇春季展2022

「Mikako Yanaka Exhibition ー慈しみー」開催

◆特別企画 結婚記念日コンサート開催

(4月29日14時～14時45分、五角堂ギャラリーにて)

出演者：Duo Akuzawa(ヴァイオリン：打保早紀、ピアノ：阿久澤政行)

◇秋季展2022

「ワグナー夫妻の日々 パネル展」開催

◆特別企画 朗読会「ワグナー・ナンドール物語」

(10月23日[日]13時半～15時半、庭園にて)

出演者：朗読 沼尾ひろ子、フルート・ピアノ：高橋詩織

◆特別展示 絵画「夫婦」を五角堂ギャラリーに展示

【開館時間】10時～16時(15時半までに入館)

【休 館 日】定期展は月曜日、その他の期間は不定期

【料 金】大人1,500円、高校生・大学生1,000円、中学生以下は無料、団体割引あり

【広 報】DM送付および配布、ポスターの配布・掲示、HPに掲載、イベント情報のウェブサイトへの告知

※新型コロナウイルス感染防止(三密を避け、マスク着用)の協力依頼を掲載した。

令和4年度来館者数報告

年間 合計1,409人(県内79%、県外21%)、うち初来館者54%

①期間別 来館者数と居住区(県内・県外)の割合

内 訳	期 間	来館者数		県内外の割合
春季展	4月15日～5月15日	計： 514人	県内： 403人	78%
			県外： 111人	22%
秋季展	10月15日～11月15日	計： 510人	県内： 384人	75%
			県外： 126人	25%
期間外	その他の期間	計： 385人	県内： 333人	86%
			県外： 52人	14%
総 計		合計： 1,409人	県内： 1,120人	79%
			県外： 289人	21%

②期間別 初来館者数の割合

内 訳	期 間	初 来 館 者 数	期 間 の 割 合
春季展	4月15日－ 5月15日	256人	50%
秋季展	10月15日－11月15日	202人	40%
期間外	その他の期間	303人	79%
総 計	初来館者の総数	761人	54%

※来館者の推移 グラフ参照

③団体の来館

- ・いちご一会とちぎ国体 益子町の国体協力隊の企画
「アートで歩け歩け」ウォーキング(デモンストレーションスポーツ)に協力
予行練習：4月14日(木) 関係者30人来館
本 番：5月28日(土) 参加者280人、大会関係者30人 計310人来館
※缶バッジ「親子三代」配布
- ・東京のハンガリー語学学校家族の来館(駐日本ハンガリー大使館の紹介)
6月12日12時～13時半 32人来館 DVD①(英語版)1枚贈呈

展示事業にかかる作品および施設の保全事業

①ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業

庭園の修復工事 2カ年計画(令和3年度、4年度)

令和4年度の工事

- ・茶室周りの園路の整備
- ・一番下(西北)の池の整備

②庭園の維持・管理

- ・植栽の追加および手入れ
- ・除草および植木の手入れ(年4回、益子町シルバー人材センターに依頼)

③建物の維持・管理

- ・旧住居の裏側 基礎修繕工事
- ・茶室裏の修繕と塗装工事
- ・五角堂ギャラリー雨漏り対策
- ・「ワグナー・ナンドール アートギャラリー」の看板修理
- ・経路案内板の修理
- ・全ての雨桶と屋根掃除
- ・定期展前のガラス磨きと館内掃除

④作品の維持・管理

- ・「哲学の庭」の像を固定
- ・専門家の助言を受け、彫刻作品の洗浄およびから拭き(4月と10月、定期展開催前実施)
- ・定期展開催中は毎日から拭きを実施

(2) 調査・研究事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールの芸術作品の調査・研究を行い、その理念および哲学を学術的に研究し、その成果を発表する事業

【事業報告】

①書籍・DVDの頒布

種 類	内 容	頒布数
書 籍	作品写真集 普及版	1
	作品写真集 限定版	0
	哲学者・彫刻家ワグナー・ナンドール (日本語訳付き)	0
	「ドナウの叫び」	23
DVD 日本語	1. ワグナー・ナンドールの世界	2
	2. 妻が語るワグナー・ナンドールとその世界	2
	3. 違いを超えて世界を結ぶ「哲学の庭」	2
DVD 英語	1. ワグナー・ナンドールの世界	2
	2. 妻が語るワグナー・ナンドールとその世界	2
	3. 違いを超えて世界を結ぶ「哲学の庭」	2

②除幕式、対談などの映像をDVDに作製し、公開した。

来館者の希望により、学生寮のDVDルームで視聴できるシステムにした。

NHK制作のワグナー・ナンドール DVD 3部作(日英)以外の制作DVDは下記のとおり

No.	タイトル・内容など	制作年
1	NHK 「益子の里の外国人彫刻家」	1986年10月撮影、NHKで放映 (VHSをDVD化)
2	ナンドール マック・イシュトヴァン氏への講義 (ハンガリー語、英語)	1995年撮影 (VHSをDVD化)
3	Wagner Nándor in HUNGARY 1997 (ハンガリー語、英語)	1997年撮影 (VHSをDVD化)
4	CORPUS HUNGARICUM (ハンガリー語、英語)	1999年撮影 (VHSをDVD化)
5	「上棟に祈る」	1999年撮影 (VHSをDVD化)
6	「禅の廊下 開館記念」	2000年撮影 (VHSをDVD化)
7	ZEN NO ROKA (ハンガリー語、英語)	2000年撮影 (VHSをDVD化)
8	FILOZOFIAI KERT (ハンガリー哲学の庭除幕式) (ハンガリー語、英語)	2001年撮影 (VHSをDVD化)
9	HOMAGE'A Wagner Nándor ワグナー・ナンドールに捧ぐ (ハンガリー語、英語)	2001年撮影 (VHSをDVD化)
10	SWEDEN 2003 Nándor's WORKS (ハンガリー語、英語)	2003年撮影 (VHSをDVD化)

11	Wagner Nándor nyomában (足跡) (ハンガリー語、英語)	2003年撮影 (VHSをDVD化)
12	Wagner Nándor “Attila”を語る (ハンガリー語、英語)	2005年撮影 (VHSをDVD化)
13	モナさんへのインタビュー (ハンガリー語、英語)	2006年撮影 (VHSをDVD化)
14	「ワグナー・ナンドールの世界 ～母子像に込めた平和への祈り」	2010年11月撮影
15	ワグナー・ナンドール「哲学の庭から」 ～中野区哲学堂公園「哲学の庭」建立1周年懇談会	2010年12月撮影
16	益子町 「ハンガリアン・コープス」除幕式 テーケシュ・ラスロー師を迎えて	2012年4月29日撮影
17	Wagner Nándor ‘FÖLDANYA Budapest’ ハンガリー「母子像・ふるさと」除幕式 (英語)	2012年10月
18	南図書館開館2周年記念事業 対談 「ワグナー・ナンドールの世界」	2013年10月27日撮影 宇都宮市立南図書館にて撮影
19	併設展「ワグナーの仕事場」 和久奈ちよ インタビュー	2014年秋撮影
20	「ハンガリー ミシュコルツ市 『母の胸に』除幕式」	2015年6月5日 ハンガリーにて撮影
21	「ワグナー・ナンドールの故郷を訪ねて」	2015年6月 ハンガリーにて撮影
22	「益子町ゆかりの石彫」 NHK とちぎ640 マイ ビデオコーナーにて放映	2015年6月 ハンガリーにて撮影
23	栃木県女性文化懇話会 対談「志賀かう子 (エッセイスト) ・和久奈ちよ」	2015年7月撮影
24	ハンガリーホストタウン登録記念 「～欧州からの調べ～ ハンガリー紀行」	2017年制作
25	南図書館開館6周年記念事業 「ワグナー・ナンドール 没後20年記念 ワグナー・ナンドールの世界」	2017年7月15日撮影 宇都宮市立南図書館にて撮影
26	「バラノビチ・ノルバート大使 ワグナー・ナン ドール アートギャラリー訪問」	2017年6月28日撮影
27	没後20年記念コンサート 「声で辿る、ワグナー・ ナンドールの世界」 Noema Noesis	2017年10月9日 東京にて撮影
28	ワグナー・ナンドール没後20年記念 「母子像・ふるさと」と共に	2017年9月2日 札幌にて撮影
29	「ワグナー・ナンドール没後20年記念会」 ハンガリー アカデミア・フマーナ財団主催	2017年10月 ハンガリーにて撮影
30	ハンガリー大使館主催 「ワグナー・ナンドール没後20年記念会」	2017年11月27日 東京にて撮影

31	ワグナー・ナンドール没後20年記念企画 「哲学のまち・中野」をめざして	2017年12月9日 中野にて撮影
32	「ハンガリーの魅力って何？」 栃木県国際交流協会主催	2018年10月13日 栃木県国際交流協会にて撮影
33	南図書館開館8周年記念事業 「ハンガリーってどんな国？」	2019年7月7日 宇都宮市立南図書館にて撮影
34	「アカデミア・フマーナ（ワグナー・ナンドール作品保全財団）設立20周年記念企画」	2019年10月2日、5日 ハンガリーにて撮影
35	「母子像」設置記念セレモニー 栃木県主催	2020年9月22日 栃木県総合運動公園にて撮影
36	「和久奈ちよ お別れの会」	2021年12月11日 宇都宮東武ホテルグランデにて撮影
37	ワグナー夫妻結婚記念日コンサート Duo Akuzawa	2022年4月29日 WNA五角堂ギャラリーにて撮影
38	南図書館開館11周年記念 ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業 「熱いバトンをつなげ！～栃の葉国体からいちご一会国体へ～」	2022年7月9日 宇都宮市立南図書館サザンクロスホールにて撮影
39	WN100記念企画 朗読「ワグナー・ナンドール物語」 朗読：沼尾ひろ子、フルート・ピアノ：高橋詩織	2022年10月23日 WNA庭園にて撮影

③ワグナー・ナンドールの講演原稿、写真アルバム、書籍などの整理
令和4年度は保管していた写真のネガのデータ化を完了した。
整理した写真アルバムは展示会場2階西の部屋に展示している。また、テーマに沿って東の部屋に資料を展示したので、来館者は会期中いつでも見ることができる。

(3) 講習会・セミナー事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが研究開発したデッサン教授法を広く公開し、講習会、セミナーなどを催す事業

【事業報告】

「デッサン教授法」のDVDテキスト作成のため、専門家数名に協力を依頼した。

今後は、高橋千代子氏、島剛先生および専門家と内容・表現について意見交換をする予定。

(4) 助成金授与事業

【趣 旨】

栃木県の芸術活動・文化活動のさらなる普及啓蒙のため、芸術文化に携わる者に対してワグナー・ナンドール記念研究助成金を授与する事業

【事業報告】

第7回助成事業

◇ワグナー・ナンドール記念助成金交付要綱に従い選定

- ・助成金額、選考委員決定(第27回理事会決議)
- ・財団ホームページ上で公募(平成4年4月1日～4月30日)
- ・選考委員会開催(令和4年5月18日)。秋山孝二委員長、藤原郁三委員、下村洋子委員
- ・助成対象者決定(第28回理事会決議)

対 象 者：谷中^{やな}美佳子^{かこ}氏 日本画家
 助 成 金 額：30万円
 研 究 課 題：「栃木県に伝わる民間伝承の新たな絵画化および古典技法の研究」
 対 象 期 間：令和4年7月1日～令和6年3月31日
 助成金贈呈式：令和4年7月21日、財団特別室にて秋山理事長が贈呈

II その他

(1) 会議実績など

開催場所：公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団事務所

会 議	開催日(または議決成立の日)	議案など
第28回理事会	令和4年5月27日	①令和3年度事業報告および決算報告 ②故和久奈ちよ理事の遺贈受け入れの件 ③第7回ワグナー・ナンドール記念研究助成事業採択の決定 ④第25回評議員会の招集について 報告：庭園整備状況についてほか
第24回評議員会	令和4年6月11日	①令和3年度事業報告および決算報告 ②故和久奈ちよ理事の遺贈受け入れの件 ③理事の選任 ④監事の選任 ⑤評議員の選任 報告：庭園整備状況についてほか
第29回理事会	令和4年6月11日	①代表理事(理事長)の選定 職務執行報告
第30回理事会	令和5年3月11日	①令和5年度事業計画および収支予算案 ②第26回評議員会の招集について 職務執行報告
第25回評議員会	令和5年5月11日	①令和5年度事業計画および収支予算案 職務執行報告

(2) 広報活動

◇印刷物(WNAはワグナー・ナンドール アートギャラリーの略称)

開催日	企画・開催地	内 容	枚 数
4月15日－5月15日	WNA春季展2022	ポスター DM	50枚 6,000枚
10月15日－11月15日	WNA秋季展2022	ポスター DM 絵はがき：夫婦	50枚 6,000枚 1,000枚
通年配布	WNA	パンフレット	春用 1,000部 秋用 1,000部

通年配布		絵はがき：哲学の庭 母子像・ふるさと	1,000枚 1,000枚
年1回発行	WN財団	年報第11号	編集中（延期） 100冊

◇WEB関連

・HPほかの充実

オフィシャルホームページ、栃木の観光HP、益子観光HP、財団専用HPおよびモバイル版を相互リンクし、SNS（ソーシャル ネットワーキング サービス）とも連携。SNSはX（旧ツイッター）、フェイスブック、インスタグラムに掲載。グーグルマップの写真掲載も積極的に行った。結果としてWEBの閲覧者が増え、定期展への来館者が増加している。

(3) 寄付・寄贈関係

和久奈ちよ理事	現金	485,794,888円
和久奈ちよ理事	土地	3筆
和久奈ちよ理事	建物	1軒
秋武氏・戸澤氏	土地	3筆
秋武氏・戸澤氏	建物	1軒
寄付金 個人1件	現金	5,000円
和久奈ちよ理事	作品	ワグナー・ナンドール作品58点

(4) 他の団体との提携

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールの作品を保有している栃木県立美術館、芳賀町、益子町、東京都中野区、札幌市ならびにハンガリー、スウェーデンなどの団体と連携、協力する事業。

1) 栃木県での提携

①「いちご一会とちぎ国体」に協力

1980（昭和55）年開催の「栃の葉国体」の記念章「親子三代」は、ワグナー・ナンドールの作品である。これに関係する資料を栃木県関係者に提供。

②「親子三代」缶バッジ製作について意見交換、益子町の協力を得て計2,000個製作
春季展来館者、「アートで歩け歩け」参加者、南図書館企画参加者、秋季展来館者ほかに配布した。

③益子町より感謝状を贈呈

贈呈式：令和4年7月22日、益子町民センターにて開催。小管理、藤原評議員が参加

④南図書館での共同開催

・7月1日～7月31日、「ワグナーさんの四季 写真展」に協力

ワグナー・ナンドール アートギャラリーの四季折々の写真をロビーに展示

・7月9日（土）、南図書館開館11周年記念 ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業

「熱いバトンをつなげ！～栃の葉国体からいちご一会国体へ～」共同開催
映像で振り返る栃の葉国体とアーティストによる国体応援コンサート
秋山理事長講演(15分)

参加者全員に「親子三代」缶バッジを提供

- ⑤栃木県主催のハンガリーバーチャルツアー（WEB）に協力
アトリエ、展示会場、庭園の撮影に協力および資料提供
「ハンガリー文化交流イベント」、オンラインでつながる栃木県とハンガリー
11月18日（金）、役員・スタッフがZOOMにて参加

2) 東京都中野区および哲学堂公園との提携

- ①第3回哲学堂公園フォトコンテストに協力、後援
- ②「哲学の庭」広報に協力

3) 北海道札幌市との提携

- ①「母子像・ふるさと」広報への協力
- ②ブロンズ像の手入れについて意見交換、毎年9月に有志が洗浄手入れ継続
- ③写真撮影およびHP、SNSへの掲載

4) ハンガリーとの提携

- ①「ワグナー・ナンドール生誕100年記念展」を共同開催
会期：2022年10月7日～2023年2月5日
会場：ハンガリー現代美術館
・ハンガリー現代美術館に茶室を建設する企画に資料（設計図・写真・動画など）を提供
・アカデミア・フマーナ（ワグナー・ナンドール作品保全協会）キシユ・レイカ理事長、キシユ・シャンドール副理事長と複数回意見交換
・秋山理事長、江原評議員 ハンガリーに出張（10月3日～10月11日）
・セーケシュハフェールヴァール市のハンガリアン・コープス慰霊祭に参加
・10月7日開催のハンガリー近代美術館でのオープニングに参加
・モーゼ像建立のドゥナウイヴァーロシュ市を訪問、教会関係者と意見交換
・その他、各地の企画に参加
- ②ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業として「WN100ルービックキューブ」を製作。
日本で関係者に配布
- ③東京のリスト・ハンガリー文化センターにて開催の企画展に協力
「日本の中のハンガリー ～ハンガリーアーティストたちが見た和の心～」
会期：2022年9月2日～11月25日
内覧会オープニングに秋山理事長とスタッフ西谷が出席
会期中、ワグナー・ナンドールの生誕100年記念企画を10月に開催
- ④ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業として「ワグナー夫妻の胸像」を制作。
益子町到着2月8日、庭園に保管
ワグナー・ナンドール アートギャラリーへの設置は令和5年10月に完成予定
- ⑤ワグナー・ナンドールの電子アートブック無料ダウンロードについて広報

5) スウェーデンとの提携

- ①ワグナー作品の調査、研究、保存に協力
- ②広報活動への協力

2022年度決算書類（一部抜粋）

貸借対照表

2023年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	583,734	95,732	488,002
流動資産合計	583,734	95,732	488,002
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
投資有価証券	462,000,000	0	462,000,000
建物	8,669,444	7,733,687	935,757
土地	54,666,567	24,424,720	30,241,847
美術品	258	200	58
基本財産合計	555,336,269	62,158,607	493,177,662
(2) 特定資産			
美術館事業積立資産	11,500,000	25,500,000	△ 14,000,000
普及啓発資料（寄贈 DVD）	10,349,878	10,439,876	△ 89,998
特定資産合計	21,849,878	35,939,876	△ 14,089,998
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	366	39,861	△ 39,495
構築物	36,438	53,188	△ 16,750
什器備品	418,879	601,079	△ 182,200
その他の固定資産合計	455,683	694,128	△ 238,445
固定資産合計	577,641,830	98,792,611	478,849,219
資 産 合 計	578,225,564	98,888,343	479,337,221
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	11,023	12,273	△ 1,250
流動負債合計	11,023	12,273	△ 1,250
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	11,023	12,273	△ 1,250
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
投資有価証券	462,000,000	0	462,000,000
建物	8,669,444	7,733,687	935,757
土地	54,666,567	24,424,720	30,241,847
美術品	258	200	58
美術館事業積立資産	11,500,000	25,500,000	△ 14,000,000
普及啓発資料（寄贈 DVD）	10,349,878	10,439,876	△ 89,998
指定正味財産合計	577,186,147	98,098,483	479,087,664
（うち基本財産への充当額）	555,336,269	62,158,607	493,177,662
（うち特定資産への充当額）	10,439,876	10,439,876	0
2 一般正味財産	1,028,394	777,587	250,807
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正 味 財 産 合 計	578,214,541	98,876,070	479,338,471
負債及び正味財産合計	578,225,564	98,888,343	479,337,221

令和5(2023)年度事業計画

I 公益目的事業

事業概要

ワグナー・ナンドールの志を継ぎ、芸術文化の調査研究を行うとともに、その作品および研究の成果を広く一般に公開し、芸術文化の振興および助成を行い、公益かつ社会に貢献する事業

(1) - 1 展示事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが制作した芸術作品、建物および庭園ならびにワグナー・ナンドールに関する美術文献を広く一般に公開展示する美術館事業

【内 容】

ワグナー・ナンドール アートギャラリーを一般に公開する。

- ・芸術文化の振興のため、併設展会場(五角堂ギャラリー)を他の団体および個人に無償提供し、併設展を開催する。
- ・春季展／併設展(五角堂ギャラリー)
「中村義孝 彫刻展」(仮題)
- ・秋季展／併設展(五角堂ギャラリー)

「Akira Miyazawa x Hironori Nakamura Exhibition 積化体[旋] - Objectlessness -」

【期 間】

定期春季展 4月15日(土)～5月15日(月) (1カ月開催) 5月15日は開催予定

定期秋季展 10月15日(日)～11月15日(水) (1カ月開催)

定期展以外の期間は休館日が不定期であるため、電話・電子メールの事前予約で、庭園のみ鑑賞が可能

【開館時間】10時～16時(入館は15時半まで)

【休 館 日】定期展は月曜日、その他の期間は不定期

【料 金】大人1,500円 高校生・大学生1,000円、中学生以下は無料。団体割引あり

【広 報】DM送付・配布、ポスターの配布・掲示、HPに掲載、イベント情報のサイトへの告知、新聞・雑誌・テレビへの告知を積極的に行う。

(1) - 2 作品の維持・管理

- ・庭園の手入れ 通常手入れ、台風およびゲリラ豪雨後の点検・補修など
- ・彫刻作品の手入れ 通常手入れ

(1) - 3 財団施設の維持・管理

- ・建物の保全、修理など
- ・設計図などの保存棚の設置計画

(2) 調査・研究事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールの芸術作品の調査・研究を行い、その理念および哲学を学術的に研究し、その成果を発表する事業

【内 容】

ワグナー・ナンドールの芸術作品の調査研究、収集を行い、研究の成果を美術文献などとして発表および頒布する。

- ・ワグナー・ナンドールのほぼ全作品を網羅した「作品写真集」を頒布
- ・「哲学者・彫刻家ワグナー・ナンドール」の日本語訳を頒布
- ・DVD「ワグナー・ナンドールの世界」日本語版、英語版を頒布
- ・DVD「妻が語るワグナー・ナンドールとその世界」日本語版、英語版を頒布
- ・DVD「違いを超えて世界を結ぶ『哲学の庭』」日本語版、英語版を頒布

【頒 布 先】

栃木県を中心に図書館、美術館、学校などに贈呈する。

個人の希望があれば原価にて頒布する。

【広 報】

展示会場にて展示をするとともにHP上で紹介し、新聞・雑誌・テレビへも積極的に情報発信をする。

(3) 講習会・セミナー事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが研究開発したデッサン教授法を広く公開し、講習会、セミナーなどを催す事業。

【内 容】

- ・ワグナーの考案した「デッサン教授法」を分かりやすくDVDにまとめる
- ・デッサン教授法の指導動画は撮影完了
- ・武蔵野大学教授 生井先生、茨城大学教授 島先生の協力で編集し、令和5年度完成を目指す。
- ・今後、この「デッサン教授法」を広く一般に公開し、講習会、セミナーなどを催す。
- ・「デッサン教授法」を広く一般に公開、講習することにより、デッサン技術の向上に貢献できる。

(4) 助成金授与事業

【趣 旨】

栃木県の芸術活動・文化活動のさらなる普及啓蒙のため、芸術文化に携わる者に対してワグナー・ナンドール記念研究助成金を授与する事業。隔年の事業であり、次回は令和6年度に実施予定。

(5) ワグナー夫妻の胸像設置事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドール生誕100年記念企画の一つである 「ワグナー夫妻の胸像」 を敷地

内に設置し、夫婦2人での制作の現場を臨場感をもって伝える記念事業。

【内 容】

- ・2月8日、ハンガリーのアカデミア・フマーナ(ワグナー・ナンドール作品保全財団)から夫妻の胸像が届き、保管している。
- ・設置のための意見交換を十分に行い、今秋の定期展での除幕式の開催を目指す。
①場所、②台座の材質、③設置工事の計画、④除幕式の内容など

II その他

(1) 理事会、評議員会会議開催

- ・第31回理事会会議 令和5年5月開催
議案 ①令和4年度事業報告ならびに決算書類の承認
②第27回評議員会招集について
- ・第26回評議員会会議 令和5年6月開催
議案 ①令和4年度事業報告ならびに決算書類の承認
②評議員の選任
- ・第32回理事会会議 令和6年3月開催
議案 ①令和6年度事業計画案ならびに予算案の承認
②ワグナー・ナンドール記念研究助成事業選考委員の選出
③第28回評議員会招集について
- ・第27回評議員会会議 令和6年3月開催
議案 ①令和6年度事業計画案ならびに予算案の承認

(2) 中期5カ年計画の策定

- ・旧タオ財団から引き継いでいる各種規程類を現状に合わせて整備する
- ・建物整備計画策定
- ・庭園管理計画策定
- ・作品整備計画策定

(3) 広報活動

印刷物

- ・年報作製、配布
- ・パンフレット作製、配布
- ・作品の絵はがき「哲学の庭」「母子像・ふるさと」「夫婦」を作製・配布
- ・小冊子「ワグナー・ナンドールの足跡」を作製、配布
- ・各種取材への協力

WEB関連

- ・公式Webサイトでは、見やすさ、使いやすさとともに情報の整理、充実に努める。また、海外向け情報(英語版)を一層充実させる。
- ・財団の事業および活動はWebサイトを独立し、各サイトの相互リンクを密にすることに

より、情報の整理、充実に努める。

- ・携帯版のモバイルサイトを一層充実させる。
- ・X (旧ツイッター)、フェイスブック、インスタグラムなどのソーシャルメディアを活用することで、よりタイムリーな情報発信をし、情報共有の場としてさらなる利用者の拡大を目指す。

(4) 他の団体との提携

- ・ワグナー・ナンドールの作品を保有している栃木県立美術館、芳賀町、益子町、東京都中野区、札幌市ならびにハンガリー、スウェーデンなどの団体と連携、協力する。
- ・役員などは来賓として参加したり、シンポジウムのパネリストとして出席する。
- ・共同でホームページの公開を行う。

①栃木県内の各種団体との連携

- ・栃木県立美術館の移転計画案を共有し、栃木県の取り組みに協力
- ・NPO法人大谷石研究会との交流を密にし、ワグナー・ナンドールが残した大谷石建築の資料をまとめる
- ・ポスター、DM、パンフレット、各種資料などの提供
- ・広報活動への協力

②東京都中野区との提携

- ・哲学堂公園第4回フォトコンテストへの協力
- ・ポスター、DM、パンフレット、各種資料などの提供
- ・広報活動への協力

※作品の手入れ、保存に関する意見交換

③北海道札幌市との提携

- ・ポスター、DM、パンフレット、各種資料などの提供
- ・広報活動への協力

※作品の手入れ、保存に関する意見交換

④ハンガリー アカデミア・フマーナ(ワグナー・ナンドール作品保全財団)との提携

- ・ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業のまとめおよび報告など協力して行う
- ・下記の各種イベントへの資料提供および助言などを行い協力する

「ハンガリアン・コープス」 セーケシュヘフェールヴァール市 記念式典
ワグナーシンポジウム

「母子像・ふるさと(石彫)」 ブダペスト市 記念会

ハンガリーで新たに発見されたワグナー作品の調査研究

ワグナー賞記念行事およびワグナー賞選抜

ワグナー・ナンドールの記録・録音テープなどを英語から日本語に翻訳

各種広報活動への協力

⑤スウェーデンの関係者との提携

- ・ワグナー作品の調査、研究、保存に協力
- ・広報活動への協力

令和5(2023)年度収支予算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位：円)

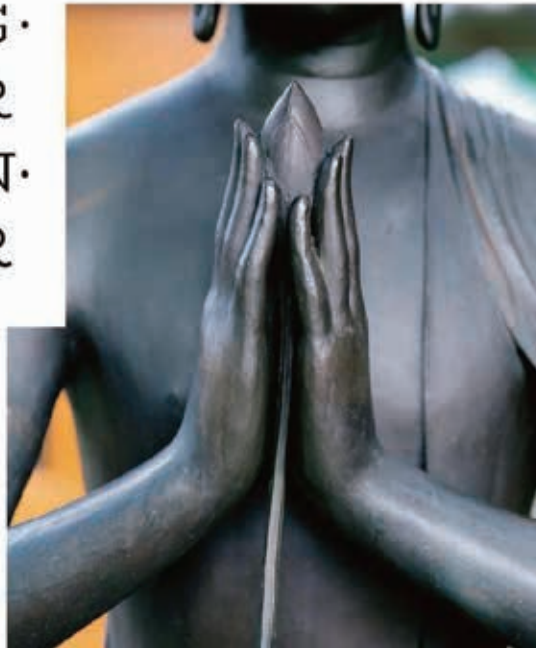
科 目	公益目的 事業(公1)	収益事業	法人会計	令和5年度 予算合計	令和4年度 予算合計	増 減
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	300		0	300	2,100	△ 1,800
基本財産受取利息	300			300	2,100	△ 1,800
②事業収益	1,100,000		0	1,100,000	1,100,000	0
入場料収入	1,000,000		0	1,000,000	1,000,000	0
頒布収入	100,000		0	100,000	100,000	0
③寄付金収入	15,050,554		1,733,557	16,784,111	15,284,111	1,500,000
受取寄付金	0		0	0	0	0
受取寄付金振替額	15,050,554		1,733,557	16,784,111	15,284,111	1,500,000
⑤雑収益	150		0	150	30	120
受取利息	150		0	150	30	120
雑収入	0		0	0	0	0
経常収益計	16,151,004		1,733,557	17,884,561	16,386,241	1,498,320
(2) 経常費用						
研究助成金	0			0	300,000	△ 300,000
給料手当	2,485,000		915,000	3,400,000	2,550,000	850,000
通信運搬費	535,500		214,500	750,000	600,000	150,000
印刷費	750,000		0	750,000	850,000	△ 100,000
消耗品費	70,000		0	70,000	60,000	10,000
事務用消耗品費	35,700		14,300	50,000	38,000	12,000
業務委託費	500,000		0	500,000	210,000	290,000
生誕100年記念事業	0		0	0	5,000,000	△ 5,000,000
作品整備費	3,500,000		0	3,500,000	200,000	3,300,000
企画費等	50,000		0	50,000	50,000	0
保険料	100,000		0	100,000	100,000	0
旅費交通費	0		200,000	200,000	180,000	20,000
修繕費	1,160,000		0	1,160,000	1,500,000	△ 340,000
水道光熱費	768,000		232,000	1,000,000	700,000	300,000
警備費	210,000		0	210,000	210,000	0
庭園管理費	2,500,000		0	2,500,000	300,000	2,200,000
清掃費	700,000		0	700,000	620,000	80,000
新聞図書費	5,000		0	5,000	2,000	3,000
交際費	15,000		0	15,000	20,000	△ 5,000
租税公課	0		50,000	50,000	2,000	48,000
会議費	0		50,000	50,000	50,000	0
雑費	0		10,000	10,000	30,000	△ 20,000
諸会費	0		20,000	20,000	20,000	0
減価償却費	2,966,474		80,581	3,047,055	3,032,388	14,667
予備費	10,450		0	10,450	10,130	320
経常費用計	16,361,124		1,786,381	18,147,505	16,634,518	1,512,987
当期経常増減額	△ 210,120		△ 52,824	△ 262,944	△ 248,277	△ 14,667
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0		0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0		0	0	0	0
				0	0	0
他会計振替額				0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 210,120		△ 52,824	△ 262,944	△ 248,277	△ 14,667
一般正味財産期首残高				△ 163,932	84,345	△ 248,277
一般正味財産期末残高				△ 426,876	△ 163,932	△ 262,944
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額	△ 15,050,554		△ 1,733,557	△ 16,784,111	△ 15,284,111	△ 1,500,000
当期指定正味財産増減額				△ 16,784,111	△ 15,284,111	△ 1,500,000
指定正味財産期首残高				49,658,607	64,942,718	△ 15,284,111
指定正味財産期末残高				32,874,496	49,658,607	△ 16,784,111
III 正味財産期末残高				32,447,620	33,962,287	△ 1,514,667

ハンガリー開催「ワグナー・ナンドール生誕100年記念展」報告

理事長 秋山 孝二



W A G ·
N E R
N A N ·
D O R



3年ぶり、ハンガリーへ 2022 (1) 10月14日

今回の3年ぶりの海外出張は、ハンガリー・ブダペストで開催される「ワグナー・ナンドール生誕100年記念展示会」のオープニング式典ほか、ワグナー・ナンドール記念財団が関係するイベントへの出席とお世話になった方々を訪問・意見交換が目的です。

道中、合計16時間の飛行機の旅を終えて、まずはブダペスト到着後にホテルにチェックイン。昼食後に「英雄広場」側の会場「ブダペスト現代美術館」に行き、準備の様子を見に行きました。

正面玄関はエントランス階段が修復中ですが、展示会場は一番奥まった素晴らしい場所で、記念展示の大きさに胸が躍りました。



修復中の階段はかなり昔の遺跡



裏正面と側面

早速展示会場に足を運ぶと初日まであと3日にもかかわらずこの程度の仕上がりが、果たして本番開始までに完成するのか一抹の不安を正直抱きました。メインの「哲学の庭」8体は3Dのレプリカですが、色合いも含めて実によくできていました。



台座も塗装の最中で、まるで本物のよう

日本での活動ブースでは日本の栃木県益子町にある「ワグナー・ナンドールアートギャラリー」から取り寄せたオリジナルの図面を基に、地元ハンガリーの的な解釈を入れての「茶室」の復元です。こちらはまだまだ段ボールによる木組みだけの仕上がり、率直に言って、障子を含めた建物の高さ・太さがどこか少しずつ違和感がありました。



これまでもそうでしたが、ハンガリーの皆さんの仕事の運び方は、日本人の感覚では準備の段取りもゆっくりで大丈夫かと思うのですが、必ず本番にはきっちり仕上げてくる、そんなスタイルがまた興味深いです。いずれにせよ、オープニングを間近に控えて、ワクワク感が高まってきたブダペスト到着初日でした。

3年ぶり、ハンガリーへ 2022 (2) 10月16日

ハンガリー3日目は、セーケシュフェヘルヴァール市とドゥナウイヴァーロッシュ市訪問です。

セーケシュフェヘルヴァール市は、これまでも何回か記事を書いています。今年も午前10時からワグナー・ナンドール作の「ハンガリアン・コープス」が設置されている公園での戦没者慰霊祭、市長ほか議会関係者は例年通り出席しましたが、ただ、コロナ禍で軍隊・学校の生徒たちは不参加、音楽隊もなしでかなりコンパクトな式典となりました。私は昨年10月に亡くなった叔母の和久奈ちよの遺影とともに参列して花輪を捧げました。



3年ぶり、ハンガリーへ 2022 (3) 10月17日

3日目午後は、ワグナー・ナンドール作品「モーゼ」が建物正面に建立されているブダペスト南のドナウ川沿岸、ドゥナウイヴァーロッシュ市のカソリック教会を訪問、大変大きな建築でした。



正面の入り口広場に「モーゼ」像が建っています。ちよさんにより日本の栃木県益子町から船便と陸送で贈られました。この像はワグナー・ナンドールの作品としては2番目に設置されたもので、1番目に設置された「水瓶を抱く女」は街中の映画館前の庭に建立されています。



この教会の神父さんのご理解により、この素晴らしい場所に建立されました。直前に通訳のエステルさんから聞いたのですが、彼女が赤ちゃんの時に洗礼を受けた神父さんだったとか。実に不思議な縁です。



この町は、第二次世界大戦中に爆撃で被害を受けましたが、戦後、ハンガリー人民労働者党中央委員会は、1949年に鉄鋼コンビナートで重工業に従事する労働者のための住宅を建設することを決め、1950年代に5カ年計画で始まった都市建設において、市はスターリンの都市を意味するスターリンヴァーロシュ（Sztálinváros）と呼ばれたそうです。今もその名残の集合住宅が立ち並んでいます。町に入るなりこれらの集合住宅を見たので、スターリン時代の影響だなと私自身感じました。ハンガリー人にとっては悪しきソ連時代の遺物なのかもしれません。



教会内は素晴らしい多数のステンドグラス、日中は日の光で鮮やか、夜は内側の明かりで外からの景観が素晴らしいようです。このステンドグラスの制作者がつい先日亡くなったそうです。



ワグナー・ナンドールの作品は、ハンガリー、ルーマニアのそれぞれ縁のある土地に建立されて、これからもその土地・人々とともに生き続けるのでしょう…。野外彫刻という価値の力強さにあらためて感動する日々です。

3年ぶり、ハンガリーへ 2022 (4) 10月18日

翌日よいよ今回のメインイベント、午後5時から「ワグナー・ナンドール生誕100年特別展」のオープニング式典です。

午前中にはこのブダペスト現代美術館のSzego Gyorgy芸術監督を表敬訪問し、このたびの特別展示会開催のお礼と日本におけるワグナー夫妻の創作活動について説明しました。



その後、メディア関係者向けの内覧会があり、テレビ・ラジオ・専門誌などの方々がキュレーターのReka Fazakasさんの説明で展示会場を順番に内覧し、質疑応答も熱心なやりとりでした。



夕方5時から予想を上回る300人以上のお客さんが来場、まずは展示の紹介を。





ワグナー・ナンドールの
作品が設置されている国と
場所の地図



ワグナー夫妻の
胸像が皆さんを迎
えます。

式典では、大鷹正人駐ハンガリー日本国大使の挨拶に続いて、私も主催者の一人としてちよの遺影と共に登壇しました。



大鷹大使は岩手県の出身、祖父・父と代々外務省官僚として活躍されまし
た。

そして、あのTókécs László夫妻もルーマニアから出席していただきました。ルーマニアのチャウシェスク政権崩壊の発端となった「ティミショアラ集会」の当事者です。



大勢の参加の方々。式典の後、美術館ロビーでは簡単な懇親パーティーを開催



今回の功労者の方々。私も便乗して記念撮影をしました。

長い一日でしたが、一つの歴史を刻んだ実感を得ました。ここまでこぎ着けた関係者の皆さんに心から感謝いたします。ありがとうございます。

3年ぶり、ハンガリーへ 2022 (5) 10月25日

今回の3年ぶりの訪問は、何かと話題が多く、なかなか語り尽くせないのが残念ですが、そろそろ終わりに向けて話題を絞らなければなりません。

まずはハンガリーの企画で、ちよさん亡き後、ワグナー・ナンドールとちよの一对の胸像をハンガリーと日本で建立しようというものです。その一つが今回の「生誕100年祭」にお目見えしました。そして、彫刻家のアトリエを訪問して日本に送られる予定のもう一对の胸像とも対面しました。



右端の彫刻家のアトリエでは、日本でどう配置するかを意見交換しました。



3年ぶり、ハンガリーへ 2022（6：最終日） 10月26日

今回のハンガリー出張は、昨年ちよさんが亡くなってから初めての訪問で、皆さんにはお世話になったお礼の意味も込めて挨拶と思っていました。

そんな中、次の世代にしっかりとつながる方々との出会いも多く、持続可能な今後の活動に明るいメッセージを受け止めました。

今回、ハンガリーの方々との話で幾つか印象的だったことを最後に書き留めます。

- 3Dによる野外彫刻の室内展示の初めての試みは大成功
- 「彫刻」は、多くの方々に見られて彫刻自体の価値が深まり、多様になり、「成長していく」もの
- ハンガリーは港がない国、エネルギーは全てパイプラインに依存せざるを得ない
- ウクライナは国としての歴史はわずか30年、世界の報道はアメリカからのものに偏っているのでは
- これからの活動は、作品の「見える化」が重要、関係者への取材を短編動画にするなどのビジュアル化を実現

そして、前回に続き道中一緒だった江原稔評議員、100年記念展示のオープニング式典のライブが中止になり、日本の皆さんには動画による後日配信の重要性が高まり、一連のイベントを丹念に記録されていました。お疲れさまでした。

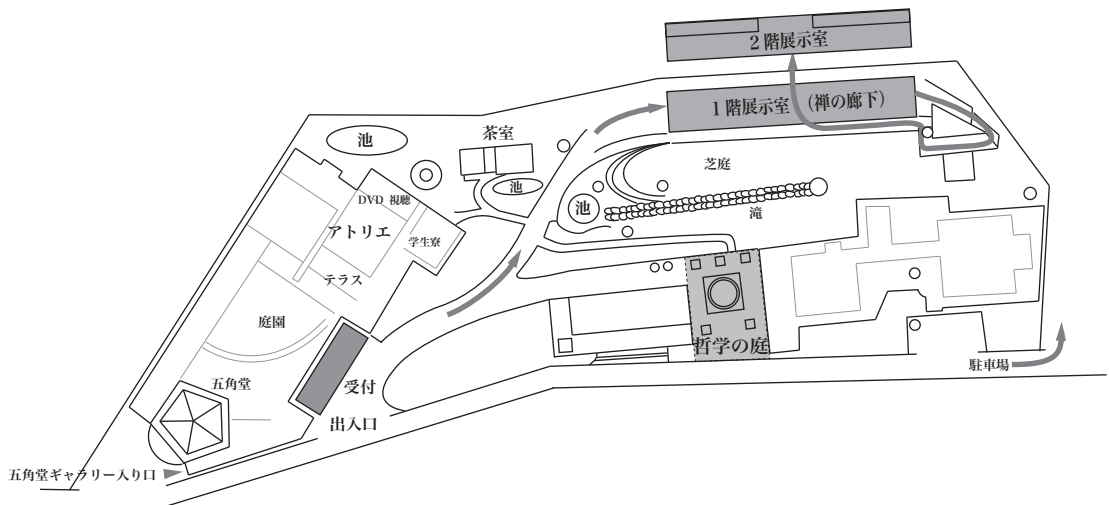


ワグナー・ナンドール (Wagner Nándor 和久奈 南都留) の足跡

- 1922年 10月7日、ハンガリー・トランシルバニア地方ナジュヴァラド市（現在のルーマニア・オラデア市）で誕生。
- 1939年 理工科高校で建築学を学ぶ。
父から「老子の書」を渡され、生涯にわたり老子の思想の深い影響を受ける。
- 1940年 ブダペスト国立美術大学に入学、彫刻を専攻。同時に国立大学医学部に在籍、解剖学を学ぶ。
- 1941年 第二次世界大戦に志願、重傷を負う。
- 1947年 ブダペスト国立大学助手となる。
国立博物館に勤務し、美術史、考古学、民俗学などを研究。
- 1949年 第二次世界大戦後の博物館復興のために研究部門の責任者に選ばれ、新築、改築の設計および新しい陳列方式を考案。
- 1951年 ハンガリーにスターリン時代が訪れ、公職から追放。
彫刻家としての制作活動に入り、国立彫刻展第一席入賞「3人の子供」などの作品を制作。
- 1956年 ハンガリー動乱の際、文化人代表に選ばれて後にスウェーデンに亡命。
ハンガリー時代の作品は友人により密かに国立博物館に保管。
- 1957年 スウェーデン・ルンド市にアトリエを構え、制作活動を再開。
- 1961年 長年研究していた分析美術史を基に哲学理論を完成。
ストラ・フィスカレ・ガータンにアトリエを移す。
- 1963年 ステンレス鑄造の研究に成功。世界初のステンレス鑄造製の大型モニュメント「エンジェル」をスウェーデン・ルンド市に建立。
- 1966年 秋山ちよと結婚（4月29日）。スウェーデンにて鑄造ステンレス製モニュメント数作、独自に考案したペーパー・フレスコ画数十点などを含め約200点を制作。
- 1969年 スウェーデンを離れ、移住のため来日。
- 1970年 栃木県芳賀郡益子町にアトリエを建設。
- 1972年 栃木県立美術館にブロンズ像「母子像」を設置。
- 1974年 モニュメント「道祖神像」（鑄造ステンレス製）、「虹の噴水」（ステンレス製）を旧成田ビューホテル（現アートホテル成田）敷地に建立。
栃の葉国体（第35回国民体育大会1980）の参加章などを制作。
- 1975年 日本へ帰化。
- 1976年 栃木県芳賀郡芳賀町に「ロマンの碑」を設置。
- 1977年 「哲学の庭」制作を開始。
- 1979年 栃の葉国体（第35回国民体育大会1980）のメダル原型を制作。
- 1983年 栃木県立美術館の庭を設計し、御影石製「母子像・ふるさと」を設置。
- 1985年 アトリエにて展覧会を開催（4月29日～5月1日）。

- 1987年 財団法人タオ世界文化発展研究所を設立し、初代理事長に就任。
- 1994年 「哲学の庭」 3組 28体の作品像をブロンズ製で完成。
- 1997年 11月15日、永眠(享年75歳)。
- 1999年 ハンガリー・セーケシュフェヘルヴァール市にモニュメント「ハンガリアン・コープス像」を建立。ハンガリー・セーケシュフェヘルヴァール市より名誉市民章を授与。
- 2000年 「ワグナー・ナンドール アートギャラリー」を開館。
ナンドールが設計した「禅の廊下」の建物が完成。
財団法人タオ世界文化発展研究所の作品展示室「禅の廊下」が開館。
ワグナーがデザインしたモニュメント「アーロム・夢」を真岡鐵道益子駅前に12月31日建立。
- 2001年 ハンガリー・ブダペスト市ゲレルトの丘に「哲学の庭」を建立。
- 2005年 故郷のナジュヴァラド市に「詩人ヨーゼフ・アティラ像」を設置。
- 2006年 伝記「哲学者・彫刻家 ワグナー・ナンドール」をハンガリーで発刊。
(株)NHKエデュケーショナルがDVD「ワグナー・ナンドールの世界」(17分)を制作。
- 2007年 日本で「ワグナー・ナンドール作品写真集」を発刊。
- 2008年 「ドナウの叫び ワグナー・ナンドール物語」(下村徹著)を(株)幻冬舎より発刊。
- 2009年 栃木県さくら市ミュージアムにて企画展を同時開催。
ハンガリーで発刊された伝記「哲学者・彫刻家 ワグナー・ナンドール」の日本語訳を発刊。
東京都中野区の哲学堂公園に「哲学の庭」を建立、12月4日に除幕式。
- 2011年 公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団に移行認定され設立。
北海道札幌市の円山公園に「母子像・ふるさと」を設置。
- 2012年 ハンガリー・ブダペスト市にワグナーがデザインした「母子像・ふるさと」の石彫を設置。
テーケシュ・ラスロー大司教を迎え、益子のアトリエで「ハンガリアン・コープス」(ブロンズ像)を除幕。ハンガリー・ブダペスト市で「母子像・ふるさと」(石彫)を除幕。
- 2013年 動乱下のハンガリー聖イシュトバン王博物館地下室に保管されていたワグナー作品数十点が新たに発見され、同博物館で展覧会開催。ヨーロッパ・ハンガリーの文化功労章を受賞。
- 2015年 ハンガリー・ミシュコルツ市に「母の胸に」(石彫)を設置。
- 2016年 モニュメント「アーロム・夢」をワグナー・ナンドール アートギャラリー敷地内に設置。
- 2017年 ワグナー・ナンドール没後20年。没後20年を記念して益子町、宇都宮市、札幌市、ハンガリー(ブダペスト)、東京都の6カ所で、記念展(春・秋)、演奏会、講演会、記念祭、メモリアルコンサート、シンポジウムを開催。
- 2020年 栃木県総合運動公園に1972年制作の「母子像」を再建。
- 2021年 ハンガリー・ドゥナウイヴァーロシュ市に「モーゼ像」を建立。和久奈ちよ、ハンガリーからハンガリー国騎士十字功労勲章を受章。10月29日、妻・ちよ永眠(享年91歳)。
- 2022年 ワグナー・ナンドール生誕100年記念展をハンガリー現代美術館で開催。
いちご一会とちぎ国体への協力により、財団に益子町から感謝状贈呈。
- 2023年 ワグナー夫妻の胸像を庭園入り口に設置し、秋季展初日に除幕式を挙行。

ワグナー・ナンドール アートギャラリー館内図




マップ&アクセス



[交通案内]

- JR小山駅から水戸線下館駅下車、真岡鐵道益子駅より徒歩30分
- 東武宇都宮駅、JR宇都宮駅西口14番バス乗り場から
関東自動車バス益子行き、共販センター前下車徒歩5分
- 東北道 宇都宮ICから約50分
東北道 北関東道・真岡ICから約20分
常磐道 北関東道・桜川筑西 ICから約20分

2023 Wagner Nándor ワグナー・ナンドール春季展




併設展
彫刻展

中村義孝

2023年 4月15日(土)ー5月15日(月)

開館時間：午前10時ー午後4時(入館は3時半まで) 休館日：月曜日 ※最終日は開催いたしません。
入館料：大人1,500円 / 高校・大学生1,000円 (中学生以下は無料)

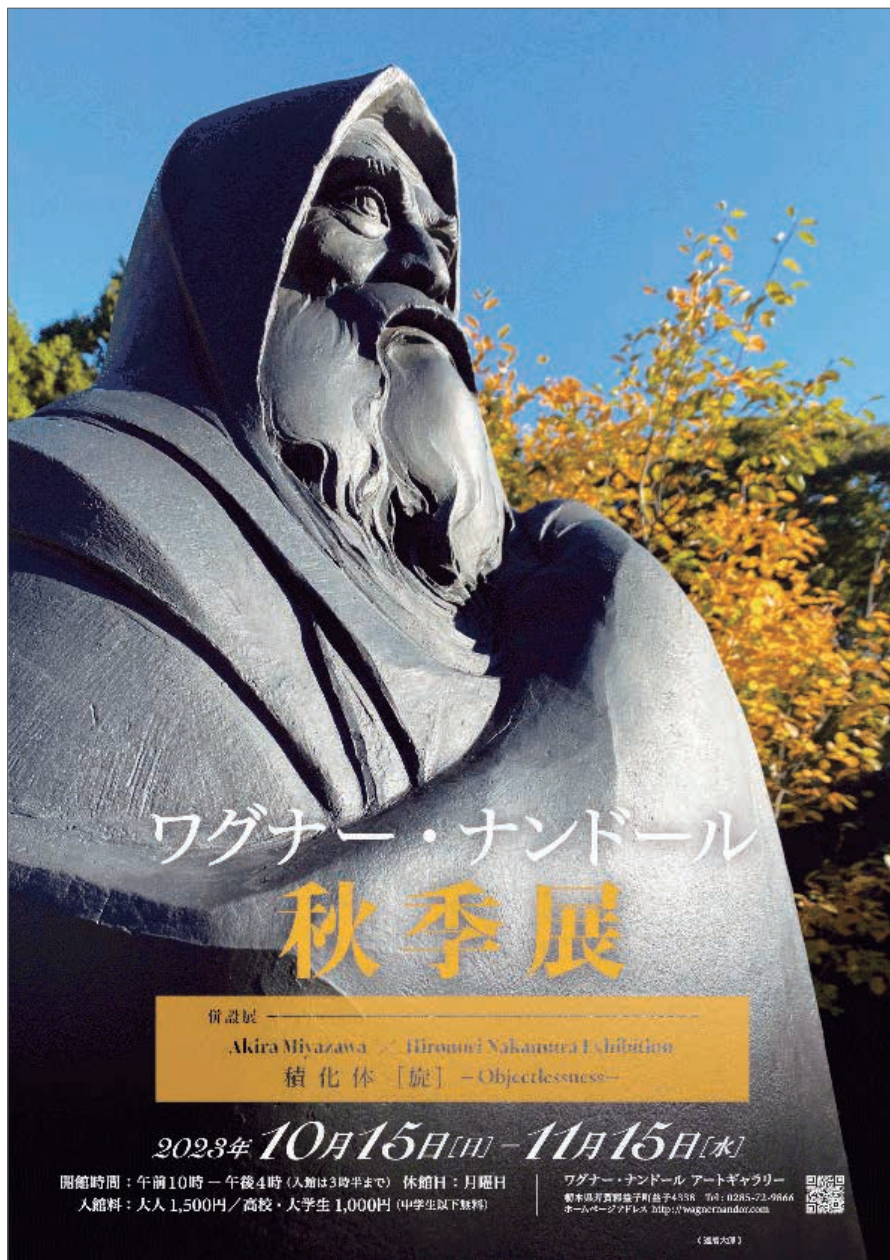
ワグナー・ナンドール アートギャラリー
根本館 五反田駅前ビル4F 4-3-38 151-0135 東京都目黒区五反田4-3-38
ホームページ <http://wagnernandor.com>



併設展 「中村義孝彫刻展」

- 会 期 2023年4月15日[土]ー5月15日[月] 27日間
- 開館時間 午前10時ー午後4時(入館は午後3時半まで)
- 休 館 日 月曜日
- 入 館 料 大人1,500円、高校・大学生1,000円(中学生以下は無料)
- 展示内容 禅の廊下のほか、展示室では常設のブロンズ、テラコッタ作品やペン画・水彩画など約80点を展示。五角堂ギャラリーでは中村氏の平和の眠りをテーマにしたブロンズ「平和の眠りーままごとー」「微睡」やデッサン「眠る子供」(鉛筆、リトグラフ)、石膏を含む13点を展示。

2023 Wagner Nándor ワグナー・ナンドール秋季展



併設展 「Akira Miyazawa×Hironori Nakamura Exhibition 積化体 [旋] -Objectlessness-」

- 会 期 2023年10月15日[日]～11月15日[水] 27日間
- 開館時間 午前10時～午後4時(入館は午後3時半まで)
- 休 館 日 月曜日
- 入 館 料 大人1,500円、高校・大学生1,000円(中学生以下は無料)
- 展示内容 展示室では常設のブロンズ、テラコッタ作品や22年秋季展に初披露した「夫婦」の下絵になったペン画など約80点を展示。五角堂ギャラリーでは宮澤章氏の積化技法を用いた作品「積化体」14点、写真家・中村裕紀氏が陶器の表面を白黒写真で表現した「積化体(旋)」10点を展示。

ワグナー・ナンドールに関する出版物、映像作品





種 類	題 名	発刊の年	
写真集	ワグナー・ナンドール 作品写真集 (限定版) 2冊組み 表紙:藍染手織り	2007年 4月	
	ワグナー・ナンドール 作品写真集 (普及版) 2冊組み 表紙:布張り	2007年 4月	
	「哲学者・彫刻家 ワグナー・ナンドール」 ハンガリーで出版 (ハンガリー語、英語) (日本語訳付き)	2006年 2009年	
	A SZÉKESFEHÉRVÁRI „Wagner-SZOBORLELET” セーケシュヘフェールバールにおけるワグ ナー彫刻作品 (ハンガリー語)	2013年	
伝 記	「ドナウの叫び・ワグナー・ナンドール物語」 下村 徹 著 (幻冬舎)	2008年11月	
漫 画	「BAR レモン・ハート」 第26巻 古谷三敏 著 (双葉社)	2009年10月	
映 像	1. 益子の里の外国人彫刻家 (日本語)	1986年	
	2. ナンドール マック・イシュトヴァン氏への 講義 (ハンガリー語、英語)	1995年	




種 類	題 名	発刊の年	
映 像	3. Wagner Nándor in HUNGARY 1997 (ハンガリー語、英語)	1997年	
	4. CORPUS HUNGARICUM (ハンガリー語、英語)	1999年	
	5. 上棟に祈る (日本語)	1999年	
	6. 禅の廊下 開館記念 (日本語)	2000年	
	7. ZEN NO ROKA (ハンガリー語、英語)	2000年	
	8. FILOZOFIAI KERT (ハンガリー 哲学の庭除幕式) (ハンガリー語、英語)	2001年	
	9. HOMAGE'A Wagner Nándor ワグナー・ナンドールへ捧ぐ (ハンガリー語、英語)	2001年	
	10. SWEDEN 2003 Nándor'WORKS (ハンガリー語、英語)	2003年	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	11. Wagner Nándor nyomában(足跡) (ハンガリー語、英語)	2003年	
	12. Wagner Nándor “Attila”を語る (ヨーゼフ・アティラ) (ハンガリー語、英語)	2005年	
	13. モナさんへのインタビュー (ハンガリー語、英語)	2006年	
	14. ワグナー・ナンドールの世界 (日本語) (英語)	2006年 5月 2012年 4月	
	15. 「ワグナー・ナンドール」の世界 ～母子像に込めた平和への祈り～ (日本語)	2010年11月	
	16. ワグナー・ナンドール「哲学の庭」から ～中野区哲学堂公園「哲学の庭」 建立1周年懇談会～ (日本語)	2010年12月	
	17. 妻が語るワグナー・ナンドールとその世界 (日本語) (英語)	2011年10月 2012年 4月	
	18. 違いを超えて世界を結ぶ「哲学の庭」 (日本語) (英語)	2011年10月 2012年 4月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	19. ハンガリアン・コープス除幕式 テーケシュ・ラスロー師を迎えて (日本語)	2012年 4 月	
	20. Wagner Nándor 'FÖLDANYA Budapest' ハンガリー母子像・ふるさと除幕式 (英語)	2012年10月	
	21. 南図書館開館2周年記念 ワグナー・ナンドールの世界 (日本語)	2013年10月	
	22. HU受賞式 (ハンガリー語、英語)	2013年	
	23. 2014年10月15日～11月15日開催 ワグナー・ナンドール秋季展 併設展「ワグナーの仕事場」 (日本語)	2014年12月	
	24. 「母の胸に」石彫建立除幕式 ～ワグナー・ナンドール作品 ミシュコルツ市 看護専門学校において (日本語)	2015年 6 月	
	25. ワグナー・ナンドールの故郷を訪ねて (日本語)	2015年 6 月	
	26. NHK とちぎ640 「マイビデオコーナー」 益子町ゆかりの石彫 撮影:江原稔さん(宇都宮) (日本語)	2015年 6 月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	27. 第194回栃木県女性文化懇話会 ゲスト対談 ワグナー・ナンドール記念財団理事 和久奈ちよ、エッセイスト 志賀かう子 (日本語)	2015年7月	
	28. ハンガリーホストタウン登録記念 ～欧州からの調べ～ ハンガリー紀行 (日本語)	2017年	
	29. 南図書館開館6周年記念事業 ワグナー・ナンドール没後20年記念 ワグナー・ナンドールの世界 (日本語)	2017年7月	
	30. Visitors to the Norbert PARANOVICS, PhD Ambassador Wagner Nándor Art Gallery Mashiko (日本語)	2017年	
	31. 声で辿る、ワグナー・ナンドールの世界 没後二〇年記念コンサート Noema Noesis 軌道 (日本語)	2017年10月	
	32. ワグナー・ナンドール没後20年記念 「母子像・ふるさと」と共に (日本語)	2017年9月	
	33. ワグナー・ナンドール没後20年記念企画 「哲学のまち・中野」をめざして (日本語)	2017年12月	
	34. EMLÉKEST Wagner Nándor halálának 20. Évfordulója alkalmából Corpus Hungaricum koszorúzás(2017) 「ワグナー・ナンドール没後20年記念会」 (ハンガリー語、英語、日本語)	2017年12月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	35. 2017年11月27日開催 ハンガリー大使館主催 「ワグナー・ナンドール 没後20年記念会」 (日本語)	2019年 6月	
	36. 2018年10月13日開催 「ハンガリーの魅力って何？」 (日本語)	2019年 1月	
	37. 2019年10月 2日、5日開催 「アカデミア・フマーナ(ワグナー・ナンドール 作品保全財団)設立20周年記念企画」 (ハンガリー語、英語、日本語)	2019年12月	
	38. 2020年 9月22日開催 ワグナー・ナンドール作 「母子像」設置記念セレモニー (日本語、DVD・Blu-ray盤)	2020年11月	
	39. 2021年12月11日開催 公益財団法人ワグナー・ナンドール記念 財団主催 和久奈ちよ お別れの会 (日本語)	2022年1月	
	40. 2022年 4月29日開催 ワグナー夫妻結婚記念日コンサート (日本語)	2022年 6月	
	41. 2022年 7月 9日開催 南図書館開館11周年 ワグナー・ナン ドール生誕100年 記念事業 熱いバトンをつなげ！ ～栃の葉国体からいちご一会国体へ～ (日本語)	2022年 8月	
	42. 2022年10月23日開催 ワグナー・ナンドール秋季展 朗読会 ワグナー・ナンドール物語 (日本語)	2022年12月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	43. 2022年10月7日～2023年2月5日開催 ワグナー・ナンドール生誕100年記念 ハンガリー編 A BÖLCSELET SZOBRÁSZJA THE PHILOSOPHER SCULPTOR (日本語)	2022年	
	44. 2023年5月14日開催 ワグナー・ナンドール アートギャラリー 春季展2023・併設展 中村義孝先生によるギャラリートーク ヴァイオリンとギターとのミニコンサート (日本語)	2023年	
	45. 2023年10月15日開催 ワグナー夫妻胸像除幕式 2023年秋季展・併設展 マリンバ・ヴァイオリンによる記念コン サート 宮澤章／中村裕紀コラボ展 (日本語)	2023年	

ワグナー・ナンドールに関する新聞記事、ラジオ・テレビ放送

種 類	見出し	掲載日・掲載面	発行元
新 聞	ナンドールさん 春季展15日まで 益 子	2023年5月6日 18面 文化	下野新聞社
	「ロマンの碑」盗まれる 芳賀町長「大変ショック」 県警捜査	2023年7月12日 3面 社会	下野新聞社
	「ロマンの碑」盗まれる 栃木・芳賀町のブロンズ製レリーフ	朝日新聞栃木版	朝日新聞社 東京本社
	記念碑「ロマンの碑」盗まれる 芳賀町の公園	読売新聞栃木版	読売新聞社 東京本社
	ブロンズ製記念碑盗まれる 栃木・芳賀	産経新聞栃木版	産業経済新聞社 東京本社
	シンプルさに潜むこだわり 益子 陶芸と写真 コラボ展	2023年10月28日 20面 文化	下野新聞社
種 類	放送内容	放送日・番組名	放送局名
ラジ オ	芳賀の「ロマンの碑」盗まれる 東高橋のロマンの碑河川公園にあるブロンズ製	2023年7月12日 CRTニュース	CRT 栃木放送
	小説作りの裏話などをお聞きしました 当ギャラリースタッフの小方良子、西谷綾が出演	2023年9月15日 気軽にArt Talk	宮 ミヤラジ 宇都宮コミュニティFM 77.3MHz
テレ ビ	栃木県芳賀町のブロンズ製記念碑「ロマンの碑」が 盗まれる 町の管理施設の金属製プレートも	2023年7月13日 とちテレNEWS	とちぎテレビ
	公園に設置の記念碑「ロマンの碑」が盗まれる 栃木 芳賀町	2023年7月12日 とちぎ630	NHK宇都宮放送局

定 款

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 この法人は公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を栃木県芳賀郡益子町に置く。

2 この法人は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に置くことができる。これを変更又は廃止する場合も同様とする。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、彫刻家ワグナー・ナンドールの志を継ぎ、芸術文化の振興及び研究、助成、保存を行い、その成果を発表、展示し、もって栃木県をはじめとする芸術文化の振興、発展に貢献することを目的とする。

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 芸術文化の調査研究、研修、講習等の実施及び芸術教育施設の整備。
 - (2) 芸術作品の収集、整理及び保存並びに公開活用、展観。
 - (3) 芸術文化活動の振興及び助成。
 - (4) 芸術文化に関する調査研究結果の刊行。
 - (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業。
- 2 前項各号の事業は、栃木県において行うものとする。

第 3 章 資産及び会計

(基本財産)

第 5 条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表第 1 及び別表第 2 の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ第 15 条及び第 18 条に定める評議員会の決議を得なければならない。

3 別表第 2 の財産は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 16 号に定める公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産とする。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第 7 条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事業所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第 8 条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）

(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、定時評議員会に提出し、第 1 号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第 1 項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に 5 年間、また従たる事務所に 3 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第 9 条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 48 条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第 3 項第 4 号の書類に記載するものとする。

第 4 章 評議員

(評議員)

第 10 条 この法人に評議員 3 名以上 10 名以内を置く。

2 評議員のうち 1 名を評議員会議長とする。

(評議員の選任及び解任)

第 11 条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 179 条から第 195 条までの規定に従い、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

(1) 各評議員について、次のイからハに該当する評議員の合計数が評議員の総数の 3 分の 1 を超えないものであること。

イ 当該評議員及びその配偶者又は 3 親等内の親族

ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者

ハ 当該評議員の使用人

ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であつて、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持している者

ホ ハ又はニに掲げる者の配偶者

ヘ ロからニまでに掲げる者の3親等内の親族であつて、これらの者と生計を一にする者

(2) 他の同一の団体(公益法人を除く)の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。

イ 理事

ロ 使用人

ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員(法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人)又は業務を執行する社員である者

ニ 次に掲げる団体においてその職員(国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く)である者

① 国の機関

② 地方公共団体

③ 独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人

④ 国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人

⑤ 地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人

⑥ 特殊法人(特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であつて、総務省設置法第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう)又は認可法人(特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう)

3 この法人の評議員のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊な関係がある者の合計数、又は評議員のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、評議員総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることにはならない。また、評議員には、監事及びその親族その他特殊の関係がある者が含まれてはならない。

(任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬等)

第13条 評議員は無報酬とする。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払をすることができる。

3 前項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

2 評議員会の議長は、評議員会において選出する。

(権限)

第 15 条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びにこれらの附属明細書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第 16 条 評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会の2種とする。

2 定時評議員会は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催する。

3 臨時評議員会は、必要がある場合には、いつでも開催することができる。

(招集)

第 17 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第 18 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第 19 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には議長及び会議に出席した評議員のうちから、その会議において選任された議事録署名人2名以上が記名押印をしなければならない。

第6章 役員

(役員の設定)

第20条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3名以上10名以内

(2) 監事 2名以上3名以内

2 理事のうち1名を理事長、1名を副理事長とする。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副理事長をもって同法第197条において準用する同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第21条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 代表理事である理事長、業務執行理事である副理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 この法人の理事のうちには、理事いずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 この法人の監事には、この法人の理事(親族その他特殊の関係がある者を含む)及び評議員(親族その他特殊の関係がある者を含む)並びにこの法人の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第22条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副理事長は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び副理事長は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第25条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(報酬等)

第 26 条 理事及び監事は、無報酬とする。

2 理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払をすることができる。

3 前項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

第 7 章 理事会

(構成)

第 27 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 28 条 理事会は、次の職務を行う。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長及び副理事長の選定及び解職

(招集)

第 29 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第 30 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 31 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には出席した理事長及び監事が記名押印する。

3 第 29 条第 2 項の規定により理事会が招集された場合は、出席した理事及び監事が第 1 項の議事録に記名押印する。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 32 条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 11 条についても適用する。

(解散)

第 33 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第 34 条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く)には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から 1 箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は

国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第 35 条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人であって租税特別措置法第 40 条第 1 項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

第 9 章 選考委員会及び選考委員

(選考委員会)

第 36 条 この法人に、ワグナー・ナンドール記念研究助成金選考委員会 (以下「選考委員会」という) を置く。

2 選考委員会は、第 4 条に掲げる助成の対象となるものについて、理事長の諮問を受け、答申する。

3 選考委員会の運営について必要な事項は、理事会の決議により別に定める選考委員会規程による。

(選考委員)

第 37 条 前条の選考委員会を構成するため、選考委員若干名を置く。

2 選考委員は、学識経験者のうちから理事会で選出し、理事長がこれを委嘱する。

3 理事及び評議員は、選考委員を兼ねることができる。ただし、理事又は評議員を兼ねる選考委員の合計数は、選考委員の総数の 3 分の 1 を超えてはならない。

4 選考委員の任期は、選任後 2 年とし、再任を妨げない。

5 選考委員には、その職務を行うための費用を弁償することができる。

第 10 章 事務局

(設置等)

第 38 条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長及び重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

第 11 章 情報公開及び個人情報の保護

(情報の公開)

第 39 条 この法人は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。

2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の議決により別に定める情報公開規程による。

(個人情報の保護)

第 40 条 この法人は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期すものとする。

2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の議決により別に定める個人情報規程による。

第12章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、官報に掲載する方法による。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の理事長（代表理事）は和久奈ちよとする。
- 4 この法人の最初の副理事長（業務執行理事）は秋山孝二とする。
- 5 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。
堅田 憲弘
北山 眞也
下村 徹
高橋 千代子
瀧沢 久子
日下田 實
- 6 この法人の最初の理事は、次に掲げる者とする。
秋山 孝二
小菅 充
志賀 かう子
村山 壽一
和久奈 ちよ
キッシュ シャンドール
- 7 この法人の最初の監事は、次に掲げる者とする。
薄羽 豊典
北上 敏栄

寄附金等取扱規程

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団（以下「この法人」という）が受領する寄附金に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- ①一般寄附金 広く一般社会の個人又は団体から受領する、用途を特定しない寄附金
- ②特定寄附金 広く一般社会の個人又は団体から受領する、用途を特定する寄附金
- 2 この規程における寄附金には、金銭のほか金銭以外の財産権を含むものとする。

(寄附金の募集)

第3条 この法人は常時一般寄附金、特定寄附金を募ることができる。

- 2 一般寄附金は、寄附金総額の50%以上を定款第4条の公益目的事業に使用することとして募集しなければならない。
- 3 寄附金が下記各号に該当する場合若しくはそのおそれがある場合には、当該寄附金を辞退しなければならない。
 - ①国、地方公共団体、公益法人及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に規定する者以外の個人又は団体がその寄附により、特別の利益を受ける場合
 - ②寄附者がその寄附をしたことにより、税の不当な軽減をきたす結果となる場合
 - ③寄附金の受け入れに起因して、この法人が著しく資金負担が生ずる場合
 - ④前3号に掲げる場合のほか、この法人の業務の遂行上支障があると認められるもの及びこの法人が受け入れるには社会通念上不相当と認められる場合

(特別寄附金)

第4条 この法人は個人又は団体より特定寄附金を受領することができる。

- 2 前項の寄附金について寄附者から資金使途及び寄附金の管理運用方法について条件が付されているときは、その受領につき理事会の承認を求めなければならない。

(受領書等の送付)

- 第5条 一般寄附金又は特定寄附金を受領したときは、遅滞なく礼状、受領書を寄附者に送付するものとする。
- 2 前項の受領書には、この法人の公益目的事業に関連する寄附金である旨、寄附金額及びその受領年月日を記載するものとする。

(情報公開)

第6条 この法人が受領する寄附金については、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第22条第5項各号に定める事項について、事務所への備え置き及び閲覧等の措置を講じるものとする。

(個人情報保護)

第7条 寄附者に関する個人情報については、別に定める個人情報保護規程に基づき、細心の注意を払って情報管理に努めるものとする。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、理事会の議決を経て行う。

附則

- 1 この規程の施行に関し、必要な事項は別に定める。
- 2 この規程は、平成24年6月2日から施行する。(平成24年6月2日理事会議決)

公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団 役員名簿

理事(6名)

(敬称略・50音順)

(令和6年3月31日現在)

	氏	名	常勤 / 非常勤
理事長	秋	山 孝 二	非常勤
	位	田 美 枝	非常勤
	小	菅 充	非常勤
	村	山 壽 一	非常勤
	山	中 茂 樹	非常勤
	キ	シュ シヤンドール	非常勤

評議員(6名)

	江	連 淳 一	非常勤
	江	原 稔	非常勤
	堅	田 憲 弘	非常勤
	潮	見 寿 子	非常勤
	藤	田 淑 子	非常勤
	藤	原 宏 史	非常勤

監事(2名)

	小	野 訓 啓	非常勤
	北	上 敏 栄	非常勤



公益財団法人

ワグナー・ナンドール記念財団

Wagner Nándor Foundation

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子4338

TEL:0285-72-9866 FAX:0285-72-3487